

もみじ台地域の茶の間

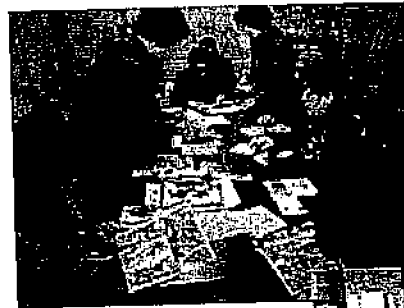
活動のテーマや内容



この場ができたきっかけは、自治会や学校関係者、ボランティア団体、企業など51団体で発足した「もみじ台まちづくり会議」の話し合いでした。08年4月からお茶の間をスタートさせたところ、地域の方々が1年間で延べ300人以上参加してくださいました。

実施主体名: もみじ台まちづくり会議

世代に関係なく誰もが気軽に立ち寄り、お茶を飲んだり、お菓子や漬物を食べたりしながら交流できる場です。おしゃべりをする方、囲碁や将棋、麻雀を楽しむ方など様々です。



活動日等

毎月第1土曜日 10:00~15:00

開催時間のなかでお気軽にお立ち寄りください。

活動をしていて嬉しかったエピソード

単身の女性高齢者が多く参加していて、笑い声が絶えない明るい雰囲気です。ある方は、「毎月1回のこの場を楽しみにしている。気軽に話せるし、友達もできた。知人を誘って参加することもある」と話してくださいました。

活動場所

もみじ台管理センター娛樂室

こんな方に参加してもらいたい

もみじ台にお住まいの方はどなたでも大歓迎です。多くの方のご参加をお待ちしております。また、スタッフも募集しています。

こんなふうに活動を広げていきたい

遠方の方や、障がいのある方、子育て中の方、若い世代の方もより気軽に参加できるように、開催場所も含め工夫していきたいと考えています。

連絡先

もみじ台まちづくりセンター (☎897-6121)

平成21年度「もみじ台の地域の大広間」開催概要

「もみじ台の地域の大広間」を12月13日(日)に、もみじ台管理センターで開催しました。

これは、「地域の取組を広く紹介するとともに、お年寄りや子どもたちがイベントを通して多世代交流をする場」として企画されました。当日は、大人から子どもまで、約350名(スタッフを含む)の方が参加され、とても賑わいました。

開催日時：平成21年12月13日(日)
午前11時～午後2時半
場所：もみじ台管理センター2階
主催：もみじ台の地域の大広間実行委員会
共催：札幌市住宅管理公社
協力：北星学園大学・札幌市立大学・厚別区地域包括支援センター・北海道新聞もみじ台大久保販売所(もみじ台まちづくりサポーター)
参加者：地域の方約350名(スタッフを含む)

大ホールでは…



地域の茶の間コーナーで楽しくお茶を飲むそばで、フロアカーリング大会が盛大に開催されました。



北星学園大学のチアダンスが会場を華やかに盛り上げてくれました。



フロアカーリング大会では、スポーツ少年団チームが大活躍。



地域の茶の間コーナーでは、子どもからお年寄りまで、初めて会った方たちが楽しくおしゃべりしていました。



参加者が一緒にダンスをする一場面も。



最後に厚別の歌「またここであいましょう」をみんなです。

2階ロビーでは…



もみじ台地域で活動している団体を紹介するパネル展では一日の野菜採取量の展示も。



札幌市立大学による、健康チェック相談コーナーも、大盛況でした。



厚別区やもみじ台周辺の歴史がわかる写真コーナーもあり、来場者の目を楽しませていました。



北星学園大学がもみじ台で行っている調査研究を紹介するコーナーでは、熱心にその結果を読む方々が大勢いらっしゃいました。

小会議室
大会議室
などでは…



紙ヒコーキ制作・実演コーナーでは、子どもたちが熱心に紙飛行機をつくっていました。



作った紙飛行機をその場で飛ばして遊んでいました。



北星学園大学や、札幌市立大学の学生さん達は、展示だけではなくスタッフとしても大活躍してくれました。



厚別区食生活改善推進員協議会の方々から五目おにぎり、サンドイッチ、豚汁、ゼリーが振る舞われました。参加者からは「おいしい」と大好評でした。

平成22年「もみじ台の地域の大広間」概要

「もみじ台の地域の大広間」が10月31日(日)に、もみじ台管理センターで行われました。

これは、昨年もみじ台中学校の生徒から提案された「お年寄りや子ども達がイベントを通じて世代交流を」というアイデアから生まれた催しで、今回で2回目の開催となりました。

当日は、大人から子どもまで、約560名の方が参加され、とても賑やかなものとなりました。

開催日時：平成22年10月31日(日)
 第一部 午前10時～午後2時半
 第二部 午後3時～午後4時半

場所：もみじ台管理センター2階
 主催：もみじ台の地域の大広間実行委員会
 共催：札幌市住宅管理公社
 協力：北星学園大学・札幌市立大学・厚別区地域包括支援センター・北海道新聞もみじ台大久保販売所(もみじ台まちづくりサポーター)

気軽に体験できる参加・体験コーナーを用意しました

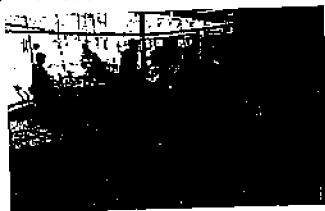
参加・体験コーナーでは、子どもからお年寄りまで参加して楽しめる催しを用意しました。



フロアカーリングは、大会のほかにも、お試しレーンも用意しました。



健康チェックコーナーでは、血圧や握力の測定を行いました。



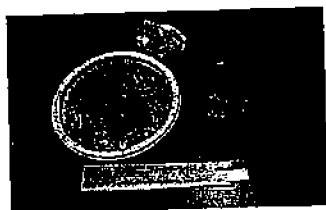
紙ヒコキ制作・実演コーナーや、小物づくりコーナーでは、子どもたちが熱心で作って遊んで楽しみました。



「地域の茶の間」コーナーでは、自由に座っておしゃべりしたり、活動発表を楽しみました。



食生活推進員協議会のもみじ井の試食コーナーも大好評でした。



北星学園大学の学生さんが開発した「もみじ井」と、お味噌汁と漬物を用意しました。

地域のいろいろな取組を紹介するコーナーも用意しました

地域で行われているいろいろな活動について、普段の練習の成果を発表したり、パネル展を行い紹介しました。



キッズダンスの発表に、来場者の方も大喜びでした。

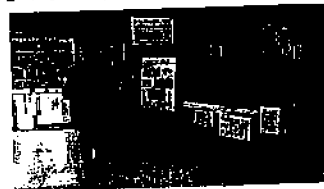


高齢者クラブみなみ会が合唱を行いました。



地域の各種団体、北星学園大学、社会福祉協議会などのパネル展を行いました。

地元のラジオ局も現場中継をしました



Radio D FM ドラマシティが、会場から電話中継を行いました。

学生さんのボランティアもお手伝い

もみじ台中学校、もみじ台南中学校、北星学園高校、北星学園大学、札幌市立大学の学生さんも、スタッフとして参加しました。



軽食の配膳



受付

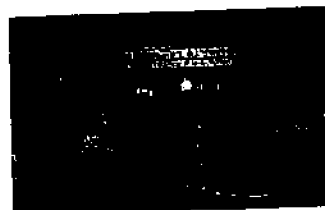


健康チェックコーナー

第二部のチェロのコンサートも大好評

第二部では、元札幌交響楽団首席奏者の土田英順氏のチェロコンサートが行われました。

日本の歌、クラシック、ポップス等、聴き慣れた名曲がたくさん演奏され、来場者の耳を楽しませました。大ホールに用意された席が足りなくなり、立ち見がでるほど大好評でした。



自主事業の参考事例

事例 2

地域の高齢者や子育て中の母親などの居場所づくり

石山地域食堂 札幌市石山地区

団体：いしやま地域食堂運営委員会

いしやま地域食堂運営委員会が、倉庫を改造し、高齢者や子育て中の母親などが気軽に利用でき、地域交流の場となることを目的とした「いしやま地域食堂」を開店した。□

■課題

高齢化が進む石山地区（平均年齢 48.4 歳。全市 87 地区中 4 位□平成 21 年 10 月 1 日現在）では、店舗の撤退等により高齢者が近くで買い物ができない不便さ解消を目的として、平成 16 年 9 月からいしやま朝市が開催されているが、月 2 回の開催では不十分なことから、常設の店舗兼食堂を求める声が多くあった。

■活動の経緯

平成 20 年に同運営委員会の副代表工藤敏恵さんが、地域のために安価で昼食を提供する食堂を開店。いしやま地域食堂は、工藤さんからの申し出により、この店に隣接する倉庫の提供を受け、より一層利用しやすい地域食堂にしようとするもので、運営協力者を募集して運営委員会を設立し、開店に至った。

■いしやま地域食堂の特徴

○地域資源を活かした建物

店舗は、石山軟石を使った倉庫の 2 階を工藤さんが独力で地域食堂として改造したもの。木と軟石を基調とした内装は、落ち着いた雰囲気をつくっている。

○多目的スペースの設置

また、多目的に利用できるスペースもあり、食事をするだけでなく地域交流の場としての機能も備えている。

○日替わりの運営者と、日替わりメニュー

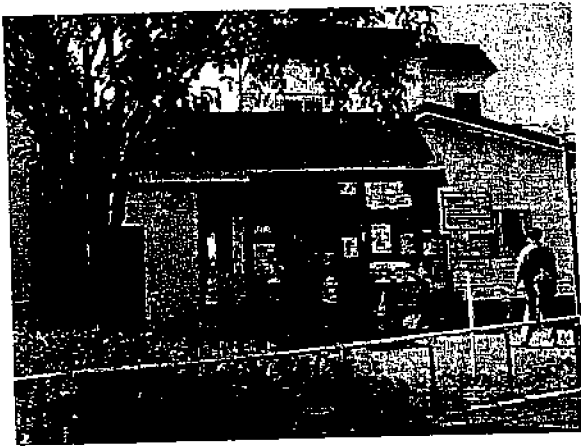
日替わりで運営者が代わり、それに伴って、メニューも日替わりでそれぞれ得意メニュー（一食 500 円）が並ぶユニークな食堂となっている。

住所 石山 2 条 3 丁目 1 4（スバル自動車向い）

電話 011-206-1047 □全館禁酒・禁煙。

むくどりホーム・ふれあいの会

活動のテーマや内容



「藤野むくどり公園」に面した「むくどりホーム」

こいのほり会、公園開園記念会、クリスマス会、スノーキャンドルを灯す、ひなまつりなどのイベントを開催しています。

また、小学生の総合学習や、中学生、高校生、大学生のボランティア体験等も行われます。

活動日等

毎週月曜、火曜、土曜日の
10時～16時
都合のつく時間に自由参加
(祭日、学校の長期休暇はお休みします)

活動をしていて嬉しかったエピソード

- ずっと以前乳幼児の頃来ていた人が中高生や社会人になってからひょっこり来てくれる時
 - 参加者が「ここは大家族の実家のようにくつろぐことができる」と言って喜んでくれる時
 - 初めて出会った人とでもすぐに交流し合える時
 - 「出会えて嬉しいね」と一緒に居て喜び合える時
- 以上のような時、とても嬉しく思います。

「障がいのある人もない人も赤ちゃんからお年寄りの人まで、みんなで交流しましょう」「お互いに違いをみとめあい、理解し合いましょう」をテーマに、わらべうた、アロマでリラックス、点字、アンデルセン手芸、話合いの会、読み聞かせ、布の絵本づくり、公園探索や音楽を楽しむなど、様々な活動を行っています。



藤野むくどり公園でも色々な活動を行います



食事をしながら自己紹介

活動場所

むくどりホーム
(藤野2条1丁目13-10)
および、藤野むくどり公園

こんなお手伝いを募集しています

乳幼児や小学生と遊ぶ、ご自分の特技を生かす(手芸、描画、音遊び、読み聞かせ、囲碁、将棋など)、むくどりホームや公園の清掃・草取り、話し相手、一参加者として一緒に楽しむ、イベントの企画・運営、ニュースレターの作成、事務。

こんなふうに活動を広げていきたい

誰もが気軽に来やすく、初めて出会った人ともお互いに交流してお友達になりたい。参加者に私の出番として特技を発揮していただきたい。

所在地 上北沢三丁目

スタート 2007年7月

スペース及び設備

約110㎡
築60年の家一軒と前庭
キッチン・ピアノ・オルガン
トイレ

運営

オーナーとTOMOの会が運営

活用した支援制度

- ・地域共生のいえづくり
支援事業
【(財)世田谷トラストまちづくり】
- ・地域の絆再生支援事業
【世田谷区】
- ・連合・愛のキャンパ
【(財)さわやか福祉財団】

子どもの声が響くたまり場に

桜並木で有名な閑静な住宅街に、昭和の面影を残す築60年の小さな木造家屋があります。ここには、かつて地域の子もたちに英語を教えていた「岡さん」という女性が暮らしていました。今は亡き、彼女の意味を引き継ぎ、子どもの声が響くたまり場にできないかと親族が考えました。

活用の仕方をみんなで考えよう

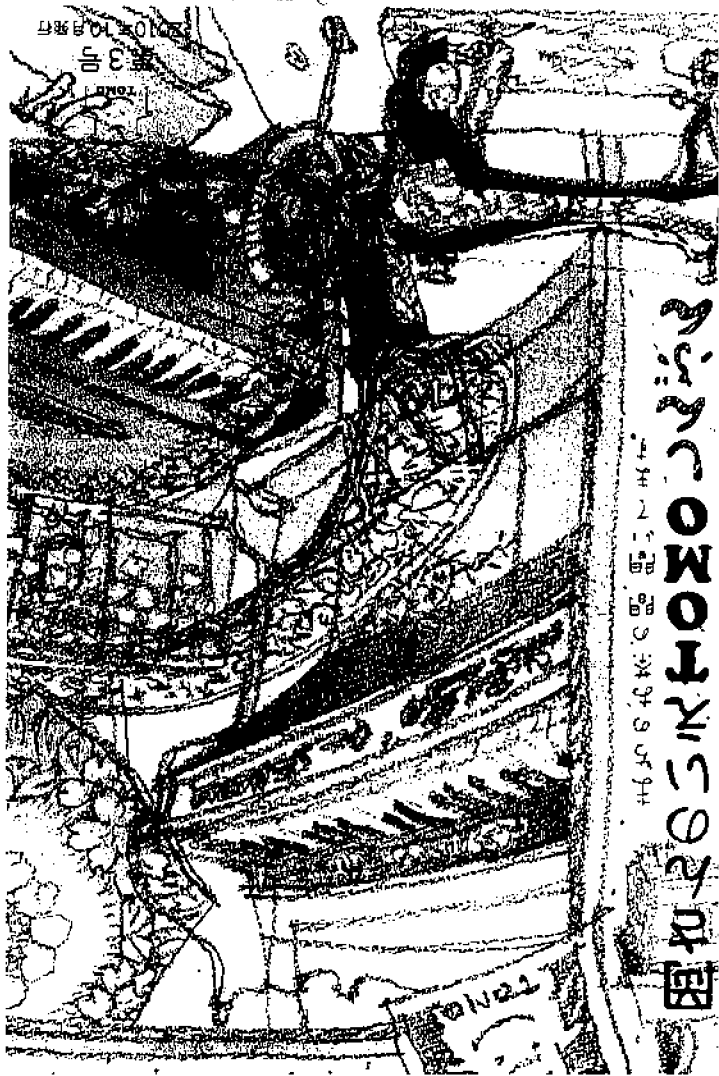
耐震補強や畳替えなどの一部改修後、地域活用の取り組みが始まりました。この場の運営にあたっては、趣旨に賛同する人々や世田谷トラストまちづくり大学※OB有志が、利用のルールづくりや、この場所を知ってもらうためのリーフレット作成などに協力しています。

「子どもに畳のある家を教えたい」と利用する人も
岡さんが書き残したレシピを再現する「おやつカフェ」や「子どもに畳のある家を教えたい」と子育てサークルの利用が始まっています。100年以上昔につくられたオルガンもあり、自由にひくことができます。

※「環境共生と地域共生」をキーワードに、地域で活動する人材を育てるための当財団の講座



子どもの声が響くたまり場に



OMOMOMOの仲間たち

2010年10月発行

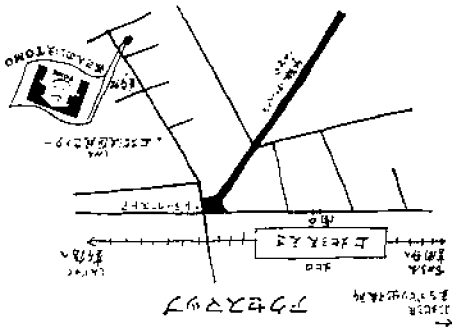
岡さんのいえ TOMO



- 見守り隊員 (毎月第2・4次曜日) 500円/年
- おそび隊員 (毎月第1・3次曜日) 1000円/年
- 見守り隊員 (毎月第2・4次曜日) 3000円/年

● 賛助会員募集！

原王様「お祭り、より徒歩5分
南口を出て右へ進み、海遊木の有名な参道の入りです。
その通りにまっすぐ、民権メモリーの先にあります。



岡さんのいえ TOMO 3号

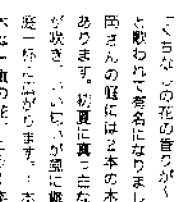
岡さんのいえ TOMO



開かれた場 世田谷区ブリックスタッド 学舎 中村麻葉

岡さんのいえに初めてフックショップが
開かれたのは、フックショップ
を開始する数か月前のちよら
ど夏のことでした。クーラー
がほとんど効かない家で多
にもかわらな、なぜかど
も居心地がよく、まるで自
己の家に帰ったような気が
したのです。ちよらどはど
と驚いています。そのとき
めて小池さんとちよらど、フ
ックショップの企画にこい
びました。

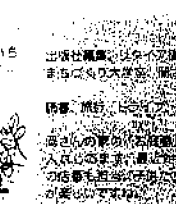
岡さんのいえ TOMO



ともの庭 見守り隊員 池田由一

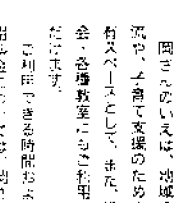
「くちんちんの花の音が、
と聴かれて奇なになりました。
岡さんの庭には本の木が
あります。初夏に真っ赤な花
が咲き、白い花が風に舞い
庭一杯に広がります。本の
木は一本の花、ちよらどは
くちんちんの音が、一本
庭の音です。」

岡さんのいえ TOMO



フックショップが増え
本がたくさんの出会いがあ
りました。ちよらとせさん、藤
山さん、そしてそのお二人と
切っても切り離せないであ
るお宗教会。はまた、今
岡さんのいえを運営されて
いる見守り隊のメンバーの方
など。過去、現段階、本
に多くのヒト、モノの出会い
がありました。なぜこのよう
なたくさんの出会いに恵まれ
たのでしょうか。

岡さんのいえ TOMO



岡さんのいえは、地域の
状況や、育て支援のための
村入へいとして、また、集
会、各種教室にも活用さ
れています。

様々な世帯の人たちが見守り隊員として活動
今年3周年を迎えた岡さんのいえTOMO。少くも地域に根付いてきていますが、「一見
ふつうのお家なのに、様々な人が土入りしているのって一体どういう場所なの？」と思う方
も少なくないはず。今回は、岡さんのいえTOMOの運営の仕組みを紹介いたします。

見守り隊員のソコチカラ
大半の隊員は、(財)世
田谷トラストまちづくり
が主催した「トラストま
ちづくり大学」の卒業生
ですが、この3年間の間
に、イベントに参加した
り、オーナーの知り合い
に紹介されて隊員になっ
たメンバーも、「親子のま
つたり市場」や「たみ
カフェ」といった団体と
見守り隊員による合同イ
ベントの開催も、こうし
た運営の中で発展してい
きました。

開催している定期イベ
ントの詳細は中面のカレ
ンダー上面をご覧ください。

みなに使ってもらいたい
岡さんのいえは、見守
り隊員によって、毎日開
かれていくわけであり
ません。毎月発行のチラ
シに掲載されている日に
ち以外は、地域の方へ
ご利用を呼びかけていま
す。過去には、地元の方々
や「世田谷ブリックスタ
ッド」演劇部の方がご
利用下さり、また、毎年
夏になると、区内外のイ
ンターシップ生が、「こ
んな企画をやってみよう」と、
思いをカタチにする
たのでしょ。それは、岡さ
んのいえが本格的な意味で地
域に「開かれた場」を目指して
いるからだと感じます。か
ら世田谷ブリックスタッド
も「地域は広域」という感
覚を強く、「開かれた場」
くりを指して日々活
います。そんな同じ志をも
った場所、仲間に出会えとい
同じ地域で出会えたことは
私たちが今後の活動に大
大励みかけがえのない
です。これからもよりよ
さしくお願ひします。



まちのお茶の間 あら か★る★と

世田谷パブリックシアター 地域の物語ワークショップ

世田谷パブリックシアターでは、毎年「地域の物語」という演劇のワークショップが開催されていますが、今年も「岡さんのいえ」がそのテーマとなりました。

開催日：2009年12月～2010年3月 主催：世田谷パブリックシアター



講師：成沢基雄さん、花崎陽さん、すずきこたえん、トチアキタイヨウさん 参加人数：延べ82人

参加者の声... 「2層に面さんが居て私達を見ていたよ」とはワークショップの一端で岡さんのいえを訪れた時の参加者の感想だがまさにその通り、その思いがこもった舞台、表現は印象的だった。



TOMOの各イベント... 岡さん5のファミリーのイベント

岡さんのいえTOMOでは、定期的に開催しているファミリーの他、定期的なカフェやサロンをひらいています。

4月11日(日)は、毎月読水場日に見守り隊員が運営しているカフェ、飲み物やデザートなどが楽しめます。

11月17日(日)は、「親子のまつり市場」という子育てのママによる運営(協力：青木産婦人科医院)です。

Calendar for January (1月) with days of the week and dates.

Calendar for February (2月) with days of the week and dates.

Calendar for March (3月) with days of the week and dates.

Calendar for April (4月) with days of the week and dates.

Calendar for May (5月) with days of the week and dates.

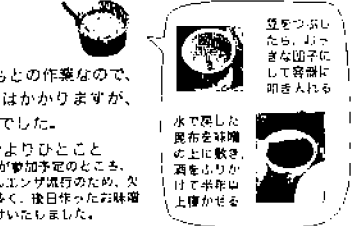
Calendar for June (6月) with days of the week and dates.

Calendar for July (7月) with days of the week and dates.

味噌作りの会

味噌作りに挑戦しました。子どもとの作業なので、機械は使わずのんびりと。時間はかかりますが、手触りがわかるので楽しい作業でした。

開催日：2月28日(日) 主催：親子のまつり市場 (協力：青木産婦人科医院) 参加人数：8人



交代で子どもを飼ながら、原羊を使って成型し石鹸水でフェルト化し、ティッシュケースや子ども用ルームシューズをつくりました。

フェルト講座

ティッシュケースづくり(初級体験含む) 開催日：1月27日(水) 子ども用ルームシューズ(中級体験含む) 開催日：2月15日(月) 参加人数：延べ20人

『また行ってみたい!』を目指して

見守り隊員 中道一... 上北沢駅徒歩5分・3LK庭有・築60年の岡さんのいえも、昭和レトロだけを残し物にいつまでもやっていける訳がありません。



日本茶を楽しく

新茶の美味しい季節に、日本茶のブコに美味しいお茶の淹れ方を教えていただきました。

タタミカフェ

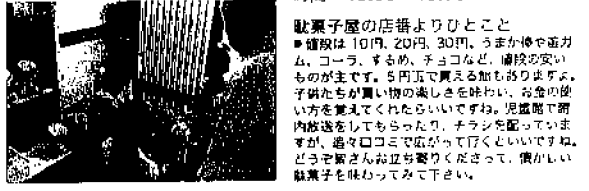
「子どものときのワクワクした気持ちを思い出さ場所」をコンセプトに2～3か月に1回ほどの頻度で、その都度テーマを変えて開いています。

開催日：2月、5月、6月 主催：タタミカフェ 時間：13:00～夕方頃 参加人数：延べ約90人

見守り隊員 月当番より... 少しでも落ち着けるスペースで、みんな一緒に居たいな...

馬木菓子屋 オープン!

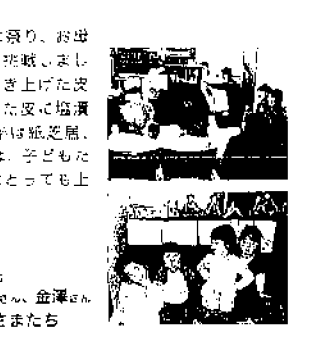
6月23日、岡さんのいえTOMOの軒下にて、ついに駄菓子屋がオープン!見守り隊員が店番をやっています。



おひな祭り

子どもたちの健やかな成長を願うひな祭り、お母さんとおひな人形が力を合わせてお祝いしてきました。

開催日：2月27日(土) 時間：13:00～16:00 主催：世田谷紙芝居の小いれ、小竹さん、金澤さん



『お茶の間』に紹介されました

毎日新聞発行の月1「毎日来入8月号」に紹介されました。またたりザニンを取材、お母さん達に感想を聞くと、皆さん「どうい場所が欲しかったんです!」と答えられ、取材したライターさんが、逆に感激なっていました。

七夕祭り

岡さんのいえTOMO 3周年イベント～ お茶の間から宇宙へ 天文学者と星空さんぽ

七夕まつりから七夕飾り作りから始まった七夕祭り、天文学者の龜谷さんとパーバークラフトを作り、宇宙のお話を聞いた後は、たくさんのお話を並ぶ様目となりました。

開催日：7月3日(土) 時間：13:00～19:00 主催：七夕飾りをつくる会、第2部 天文学者と星空さんぽ、第3部 七夕

講師：龜谷裕久さん (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 1,AXA/ISAS) 司理員 参加人数：55人

